



PUBLIC MAGAZINE

パブリック マガジン

第451号

かみしほ

発行 上士幌町農業協同組合

編集 営農振興部 営農振興課

印刷所 上士幌印刷

謹賀新年

2026 元旦

## 目次

- P 1～7 ……年頭のご挨拶  
P 8 ……謹んで新年のお慶びを申し上げます  
P 9～11 ……第16回全日本ホルスタイン共進会  
P 12 ……農協法公布記念にあたって  
P 13 ……JA青年部子ども農業体験  
P 14 ……JA青年部給食センターへ馬鈴薯寄贈  
第50回 JA十勝青年部大会  
P 15 ……JA青年部管外合同視察研修開催  
第74回 JA青年部全道大会開催  
P 16 ……理事会だより 行事予定  
P 17 ……JA女性部日帰り研修会開催

- P 18 ……令和7年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会開催  
JA女性部商工会女性部との交流会開催  
家の光  
P 19 ……すずらん会11月例会 すずらん会12月例会  
P 20 ……農業者年金で安心・豊かな老後を  
P 21～22 ……第44回十勝農協連海外農業研修視察報告  
P 23 ……酪農振興会女性研修会開催  
上士幌町交通安全緊急決起集会開催  
新入職員紹介 人事の動き  
P 24 ……酪農情報  
P 25 ……秋の収穫作業風景  
P 26 ……令和7年度巡回ドックの最終案内  
P 27 ……令和7年度年末年始の業務体制



# 年頭めぐら後援

代表理事組合長

高橋 昭博

令和八年の新春を迎え、組合員並びにご家族の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また 旧年中は当組合の事業運営に対しまして、格別のご理解ご協力を賜り、役職員を代表しまして厚く御礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は、不安定な国際情勢の中、米国のトランプ政権による関税引き上げや、緊迫する中東情勢、更には米中関係の対立構造などの影響で、依然とし

昨年十月には、我が国の歴史上初の女性自民党総裁の高市早苗氏が首相となり、また、議員選挙におきましては、農業関係者各位の多大なるご協

きな負担をもたらしている一方で、農畜産物価格への転嫁が進んでおらず、農業経営に多大な影響を及ぼしております。

て円安傾向に歯止めがかかる  
ず、食料、エネルギー価格、  
輸入資材コストの高騰により  
私たちの生活や農業分野に大

昨年の本町農業につきましては、根雪始が過去に類をみないほど遅い二月四日になるなど、各種圃場管理や秋播小

プロセスとしては、より具体的かつ実効性のある計画や、農業関連予算の更なる拡充を要請してまいります。

力によりJAグループ推薦の東野秀樹氏が初当選を果たしました。令和六年に改正された「食料・農業・農村基本法」に基づきまして、JAグレ

では、黒毛和種ならびに乳牛の取引価格は高値になつてきていますが、飼養費高騰はやらないため依然として厳しい状況が続いております。

低迷に歯止めかからず、道内はもとより全国的な需給バランスは引き続き注視していくべきです。家畜消流におきま

並みの生産量で推移しております。しかし生産抑制は緩和されたものの、飲用乳の消費

モロコシにおいて平年比で販  
量減となりました。  
生乳生産におきましては、  
七月の高温多湿により飼養管

被害もなく収穫作業を完了することができました。しかし、生育期の雨不足や日照不足などにより二番草、飼料用トウモロコシ

影響と腐敗等により前年より収量減少となりました。飼料作物におきましては、九月の収穫期後半に強風に舞つたものの、大きな倒伏

家族の皆様のご多幸を願いつゝ、不斷の努力が報われる年となりますことを祈念申上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

づくりのために、協同組合に  
結集いただけますよう、心より  
お願い申し上げます。

が結集し、「協同」の力でこの激動の時代を乗り越えなければなりません。今後とも組合員の皆様の深いご理解ご

も進めてまいりたい所存であります。本町の基幹産業である農業を支える組合員の皆様と、JAならびにJAグループ

激に進行する温暖化による気候変動や、国内外情勢の変化を前提とした営農設計も視野に、リスク対応型営農の検討

ても、日々鋭意努力される組合員の皆様には衷心より感謝と敬意を表するところであります。



# 年頭おめでた様

会長理事

小 棕 茂 敏



を示すことができました。

一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えておりま

す。加えて、激甚化する気候変動への対応は待ったなしの状況であり、今や強靭な生産基盤の構築が急務となつてお

ります。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たち北海道農業を取り巻く環境は日本の食糧基地としての重責を担う一方で、多くの試練に直面して参りました。一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えておりま

す。加えて、激甚化する気候変動への対応は待ったなしの状況であり、今や強靭な生産基盤の構築が急務となつてお

ります。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たち北海道農業を取り巻く環境は日本の食糧基地としての重責を担う一方で、多くの試練に直面して参りました。一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えておりま

す。加えて、激甚化する気候変動への対応は待ったなしの状況であり、今や強靭な生産基盤の構築が急務となつてお

ります。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たち北海道農業を取り巻く環境は日本の食糧基地としての重責を担う一方で、多くの試練に直面して参りました。一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えておりま

す。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

た。特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によっては春先の低温や降霜、高温障害、さらには夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によって、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその

事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜つておりますことに御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たち北海道農業を取り巻く環境は日本の食糧基地としての重責を担う一方で、多くの試練に直面して参りました。一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えておりま



# 令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会  
代表理事長

樽井 功

新年あけましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様におかれまし  
ては、日々営農に更に邁進さ  
れておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆  
様が一丸となり地域農業の振  
興や地域社会の発展に向け、  
日頃より多大なご尽力をされ  
ていることに対しまして、改  
めて敬意と感謝を申し上げる  
次第であります。

昨年の北海道農業について  
は、春先から天候に恵まれ、  
各作物の生育は全般的に平年

より順調に推移しておりま  
したが、道内の広範囲におい  
て被害が発生した夏場の記録  
的な豪雨や干ばつにより各作  
物等の収量および品質に影響  
が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自  
然災害の多発や栽培適地の変  
化、円安基調の継続や国際紛  
争等に起因する資材価格の高  
止まりが農業経営に大きな影  
響を与えており、農業・農村  
を取り巻く環境は大きな変革  
期を迎えております。

この様な状況の中、昨年七  
月に実施された参議院議員選  
挙において、組合員・JA役  
職員をはじめとする多くの皆  
様のご支援をいただき、全国  
農業者農政運動組織連盟が推  
薦した東野ひでき氏を国政に  
送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、  
改正基本法により基本理念と  
して位置付けられた、国民一  
人一人の食料安全保障の確保  
や環境と調和のとれた食料シ  
ステムの実現、持続可能な北  
海道農業の確立に向けて、組  
合員・JAの声を国政に届け  
る活動を継続していきます。

J A グループ北海道は、今  
後とも組合員との対話活動を  
一層強化し、協同組合の理念  
と精神を組織結集力につなげ、  
組合員の皆様が夢と希望を持  
つて営農と生活が続けられる  
環境を整え、「力強い農業」  
と「豊かな魅力ある地域社会」  
の実現に全力で取り組んでま  
ります。



午年です。午年はエネルギー  
と行動力が高まり、挑戦や成  
長の機会が得られる年とされ  
ています。この謂われにあや  
かり、本年が北海道農業の更  
なる飛躍の年となることと、  
皆様のご多幸とご健勝をご祈  
念申し上げ、年頭のご挨拶と  
いたします。

午年です。午年はエネルギー  
と行動力が高まり、挑戦や成  
長の機会が得られる年とされ  
ています。この謂われにあや  
かり、本年が北海道農業の更  
なる飛躍の年となることと、  
皆様のご多幸とご健勝をご祈  
念申し上げ、年頭のご挨拶と  
いたします。



# 年頭のご挨拶



十勝農業改良普及センター  
十勝北部支所

支所長 熊谷 健一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝にて令和八年の新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当センターの普及活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の上士幌町における四月から十月までの気象経過を平年と比較しますと、積算気温は百十六%、積算日照時間は百十二%、積算降水量は百

一%となりました。また、前年の根雪始は平年より二十日遅くなり、最大積雪深は平年より約十七cm深く、最大土壤凍結深は平年並となりました。融雪期は平年より九日遅く、四月下旬の降雨等により耕起最盛期は平年より六日遅い五月五日となりました。それに伴い、てんさいのは種・移植、ばれいしょの植付作業も遅れました。五月中旬は天候が回復し、飼料用とうもろこしや豆類のは種作業も開始が遅れ

大幅に進み、収穫作業も平年より早く終了しました。

各作物とも収量は概ね平年並以上となりましたが、高温による影響も見られました。小豆では倒伏や過熟・腐敗、金時では色流れ粒の発生による等級や規格内収量の低下が見られました。てんさいは根重は多かつたものの、根中糖分が平年をやや下回る結果となりました。また、牧草では夏枯れの発生も見られました。

これらの問題に対し、農業者と関係機関が一丸となり取り組んでいかなければなりません。堆肥やバイオガスプラントから生じる消化液等地元資源の活用、土壤分析を活用した適正施肥、輪作や緑肥投入によるほ場の地力の維持・向上、飼料分析を活用した適正な飼料給与、雑草対策や草

地植生改善による良質自給粗飼料の確保、牛舎の暑熱対策等、今できることを一つ一つを念頭に、地域振興の一助となるれるよう活動していく所存です。

結びに、皆様方のご活躍とご健勝、今年が稔り多き一年であることをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

普及センターでは重点的に取り組む地域課題として、令和三〇七年度にかけて幸福地域の皆様のご協力の下、畑作物の安定生産を目指した技術改善に取り組んでいたところですが、令和八年度からはあらためて上士幌町で新規に重点課題を立ち上げ、コスト低減や生産性・経済性向上に向けた取組を行う予定となっています。今後とも農業者・関係機関の皆様方と連携して、普及事業の基本テーマである「地域の目となり耳となる普及」、「農業者のそばに立つ普及」「地域の知恵袋となる普及」を念頭に、地域振興の一助となれるよう活動していく所存です。

たものの、は種期はほぼ平年並となりました。は種・植付

確実なものとなっています。

普及センターでは重点的に取り組む地域課題として、令和三〇七年度にかけて幸福地域の皆様のご協力の下、畑作物の安定生産を目指した技術改善に取り組んでいたところですが、令和八年度からはあらためて上士幌町で新規に重

取組を行う予定となっています。今後とも農業者・

普及センターでは重点的に取り組む地域課題として、令和三〇七年度にかけて幸福地域の皆様のご協力の下、畑作物の安定生産を目指した技術改善に取り組んでいたところですが、令和八年度からはあらためて上士幌町で新規に重



# 年頭のご挨拶



ホクレン清水製糖工場  
北部原料所

所長 佐藤 宏二

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりホクレン清水製糖工場ならびに北部原料所の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜つておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、昨年のてん菜の春作業については、四月中下旬は降水量が多かつたことにより、直播播種、移植定植とともに平年より遅い開始となり、その

断続的な降雨による多発条件下ではございましたが、例年より早い六月下旬から防除を開始していただき、その後も防除間隔を短くして防除徹底していただきたことで、病勢の進展を抑えることができたと考えております。改めて、

生産者皆様方の防除への高い意識を実感することができました。

害虫被害について、七月下旬にはシロオビノメイガの発生が見られ、更には八月中下旬にはシロイチモジヨトウの発生が確認され、圃場による被害程度には差はあるものの発生は拡大していきました。

現在、製糖工場では、生産者から供給していただいた貴重な原料てん菜を一つも無駄にすることなく砂糖にすべく、操業が続けられています。

また、本年は予想収量の乖離等もあり、生産者の皆様には大変ご迷惑をおかけしお詫び申し上げるとともに、原料

後も断続的な降雨の影響で盛期・完了とともに平年より遅くなりました。

六・七月は気温が高く、降雨量は少なく推移し、生育は順調に進み、七月上旬での生育調査では平年並みまで回復することとなりました。しかし六月から平均気温が高く推移したことから、褐斑病の初発につきましては平年より早い六月下旬には見られました。

七月以降は六月に引き続き平年より高い気温が続いたこと、七月下旬以降の断続的な

降雨により褐斑病が蔓延しやすいう条件が揃い、更には根腐病や黒根病といった根部の病害の発生も平年より多く見られました。

褐斑病については、高温と断続的な降雨による多発条件下ではございましたが、例年より早い六月下旬から防除を開始していただき、その後も防除間隔を短くして防除徹底していただきたことで、病勢の進展を抑えることができたと考えております。改めて、

生産者皆様方の防除への高い意識を実感することができました。

害虫被害について、七月下旬にはシロオビノメイガの発生が見られ、更には八月中下旬にはシロイチモジヨトウの発生が確認され、圃場による被害程度には差はあるものの発生は拡大していきました。

現在、製糖工場では、生産者から供給していただいた貴重な原料てん菜を一つも無駄にすることなく砂糖にすべく、操業が続けられています。

また、本年は予想収量の乖離等もあり、生産者の皆様には大変ご迷惑をおかけしお詫び申し上げるとともに、原料

たが、生産見込みとしては計画値を上回る収量が期待できます。

砂糖業界を取り巻く環境について、令和七年のてん菜作面積ではあります。畑作の輪作体制維持のためにもてん菜を作付していただけるように活動受入輸送について、トラックドライバーの労働時間等の改善で定められた『四百三十休憩』の導入と、糖分分析業務の合理化に係る「サンプル採取基準の見直し」という大きな変更がございましたが、生産者皆様方ならびにJA上士幌町様のご理解とご協力を賜り運用することができました。

現在、製糖工場では、生産者から供給していただいた貴重な原料てん菜を一つも無駄にすることなく砂糖にすべく、操業が続けられています。

また、本年は予想収量の乖離等もあり、生産者の皆様には大変ご迷惑をおかけしお詫び申し上げるとともに、原料

てん菜の輸送にご理解ご協力をいただき、心より感謝申上げます。

砂糖業界を取り巻く環境について、令和七年のてん菜作面積ではあります。畑作の輪作体制維持のためにもてん菜を作付していただけるように活動受入輸送について、トラックドライバーの労働時間等の改善で定められた『四百三十休憩』の導入と、糖分分析業務の合理化に係る「サンプル採取基準の見直し」という大きな変更がございましたが、生産者皆様方ならびにJA上士幌町様のご理解とご協力を賜り運用することができました。

現在、製糖工場では、生産者から供給していただいた貴重な原料てん菜を一つも無駄にすることなく砂糖にすべく、操業が続けられています。

また、本年は予想収量の乖離等もあり、生産者の皆様には大変ご迷惑をおかけしお詫び申し上げるとともに、原料

# 有意義な女性部をめざして



JA上士幌町女性部

部長 矢戸 藍

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より女性部活動に対しまして、部員の皆様、ご家族の皆様、役職員の皆様には多くのご理解、ご協力を頂いていることにも深く感謝申し上げます。

今年度は、家畜品評会での豚汁提供や、バルーンフェスティバルでの新じゃが提供など、たくさんの方に喜んで頂きました。また、時期的に参加協力が難しかった農商工生涯学習まつりにも、部員の方にもお手伝いいたく形で人数を集め、何とか女性部恒例の豚汁販売と牛乳試飲会を行なうことができ、ご来場の皆様に楽しんで頂けました。部員数が減ってしまった今、役員対応だけでは参加協力が難しいことも、部員の方

にもご協力頂くことで可能になると実感しました。今後とも皆様のご協力、そしてより多くのご意見やアイデアを頂けたらと願っています。

農業女性はとてもパワフルです。妻であり、嫁であり、専従者でもある農業女性。多くの方が母であり、中にはかわいいおばあちゃんもいるかもしれません。そんなパワフルな農業女性の「自分らしく輝ける場所の一つ」がJA女性部活動になれるよう、今後もより一層精進してまいります。

女性部未加入の方、再加入希望の方、私たちと一緒にパワフルに活動しませんか？パワフルな女性部活動に不安な方もどうぞお気軽にお声掛けください！いつでも大歓迎です！

最後になりますが、本年が皆様にとって最良の年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



女性部 日帰り研修会



女性部 花壇づくり



フレッシュミズ部会 夏季研修会



すずらん会 8月例会

# 未来に繋がる 青年部活動を



JA上士幌町青年部

部長  
**伊藤顕太郎**

新年明けましておめでとうございます。日頃より皆様方には青年部活動に対しご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨日の上土幌町は、雪解けも遅く断続的な降雨により春耕期が遅れ、各品目において播種作業が集中することとなりました。六月は高温多雨、七月には猛暑日が続き雨不足による高温干ばつの影響で、小麦収穫は過去最速の七月二十五日に受け入れ終了となりました。

その後は、気象状況が不安定な状況が続き、作物全般的に前年を下回る収量となりました。また、生乳生産におきましては、前年並みの生産量で推移しておりますが、生産抑制は緩和されたものの、飲用乳の消費低迷に

我々青年部は、町全体の繋がりを強くすることで、厳しい状況を乗り越えられると考えております。昨年は、上幌町と農協に協力を依頼し、狩猟免許取得に対する助成を正式に頂ける

気候変動等による自然災害・円安基調の継続・国際紛争等による資材価格の高止まりが今後も農業経営に与える大きな影響は計り知れません。

状況が日々変わっていく農業情勢に対応していく為にもJAグループの一員として青年部も力を結集し対応していく必要がある

歯止めがかからず、全国的な靈給バランスは引き続き注視していかなければならぬ状況にあります。

社会情勢へ目を向けてと、

員のみならず組合員の皆様に対しましても今回の狩猟免許取得を通じて長年問題視されております鳥獣被害の減少に向けて素晴らしい事業を利用いただければ幸いです。

け作業を行いました。管理作業  
防除などは青年部員中心で行い  
何とか八月に収穫体験を行う事  
が出来ました。自分たちで植え  
た芋が日々少しづつ大きくなる  
様子を実際に見て収穫体験をす  
ることは、今まで以上に子ども  
たちの成長を感じる事が出来ま  
した。

小学生と一緒に食べました。いつも食べている食材に対しても何か興味を持つて貰えれば嬉しいです。今後も安心安全な農畜産物を作るために食と農の繋がりの大切さを伝えられるように努めていきたいと思います。

パーティーではチャーハン販売八月のバルーンフェスティバルではトラクター展示など町で行われたイベントに参加させて頂きました。イベントを通じ、地域の方々と交流出来る環境は部員にとっても貴重な時間となつたと思いますので、今後も大切にしていきたいと思つております。教育事業では、毎年行われている上士幌小学校三年生を対象とした芋掘り体験を実施致しました。例年であれば、青年部員の園場を使用して収穫だけの体験を行つておりましたが、「せっかくなら植え付けから収穫までを体験して欲しい！」との相談から、初の試みとして小学校の畑をお借りし、植え付けから

達にとつて新鮮たつたようで  
「これ私が育てた芋だよつてお  
母さんに言うんだ!」、「こんなに  
大きな芋取れたよ!」など嬉し  
そうな顔で作業をしていました  
収穫後は、教室にて馬鈴薯に  
ついて学習会を行いました。今  
回は、初の試みでバタバタしま  
したが、子ども達が楽しそうに  
作業する姿や真剣に学ぶ姿を目  
ると改めてこの事業の大切さを  
実感すると共に実施して良かつ  
たなど感じました。

十月には酪農体験を実施し、  
牛舎見学・搾乳体験・子牛との  
触れ合い・トラクター試乗を行  
い、普段見たり触れたりするこ  
とのない酪農の仕事を体験して  
頂きました。実際に牛に触れて  
学ぶことで普段から当たり前に

青年部は創立七十周年を迎えた。十二月には七十周年記念式典を行う形となり、現在は委員会を立ち上げて青年部総出で準備しております。記念式典に向けて各関係機関の皆様には大変お忙しい中ではございますが、ご出席依頼等のお願いをさせて頂いている状況でございます。青年部一同、より良い記念式典になりますよう真摯に取り込んで参ります。ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

収穫までを一緒に出来る形と致しました。五月から授業の一環として一連の流れを説明しながら機械で畑が出来上がつていく風景を見学してもらいました。その後、子ども達と共に植え付

飲んでいる牛乳がどのように育つ  
っているかを感じてもらい、少しでも酪農について興味を持つ  
て貰えれば嬉しく思います。

十一月には給食センターに寄  
贈した馬鈴薯を使用した給食を

結びとなります。皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げる共に、本年も豊穣の秋を迎えられますことをご祈念致しまして新年のご挨拶とさせて頂きます。

# 2026

## 謹んで新年の お慶びを申し上げます

農協会長理事	代表理事組合長
専務理事	常務理事
筆頭理事	理事
常勤監事	代表監事
一般監事	常勤監事
他	一般監事
農協地区連絡連合協議会 会長	農協女性部 部長
農協青年部 部長	農民同盟 委員長
ホクレン清水製糖工場北部原料所 所長	酪農振興会 会長
馬産振興会 会長	畑作振興会 会長
和牛生産改良組合 組合長	ホルスタイン同好会 会長
野菜生産組合 組合長	野菜生産組合 組合長
酪農ヘルパー有限責任事業組合 組合長	酪農年金友の会 会長

泉根 楠 小齋 金齊 佐伊 佐伊 矢藤 職細 松遠 布菅 熊嶋 泉林 高高 小  
田本 榼 藤田 藤藤 藤藤 戸本 員木 岡山 原谷 木田 木橋 榼  
耕明 圭淳 龍雄 喜顕 宏顕 一芳 秀昇 知勝 和宏 昭茂  
作則 太一 豊二 司明 郎二 郎藍 猛同 宏行 治宏 彰肇 美寛 行茂 博敏



# 第16回全日本ホルスタイン共進会

## 小椋淳一氏名誉賞受賞!



10月25・26日、安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場において第16回全日本ホルスタイン共進会が開催された。ホルスタイン種368頭、ジャージー種32頭が出品し、審査員は（一社）日本ホルスタイン登録協会 北海道支局審査部部長稻山智明氏が務めた。

本町からは8頭が出場し、その中でもホルスタイン種にて小椋淳一氏の第13部出品牛「ハイロード ラムダ エクスター」が経産牛2歳3歳クラスにおいて名譽賞を受賞し輝かしい成績を収めた。また本町から出場した7頭が優等賞に選ばれる目覚ましい活躍を見せ、共進会が閉会した。





## 第16回 全日本ホルスタイン共進会 入賞結果

開催日 令和7年10月25日(土)・26日(日)

### 上士幌出品牛入賞結果

順位	部門	名号	生年月日	出品者
優等-3	3	ハイロード ドーマン サンダー エスペランザ ET	R 6.07.19	小椋 淳一
優等-4	3	ハツピーグローリー OHリバー-SYC フアーニア	R 6.07.05	熊谷 肇
優等-1	4	ドラマチック サイドキック スカイツリー 2	R 6.05.03	小椋 直樹
優等-4	5	ハツピーライン ARK ロイヤル オリエント ET	R 6.02.24	吉田 智貴
2等-1	7	ハツピーライン インプリント シヤイニー	R 5.10.24	吉田 智貴
優等-2	9	ハツピーライン アリゲーター エリオット	R 5.02.09	吉田 智貴
優等-7	12	ハイロード バリー チーフ リサマリー ET	R 4.06.15	小椋 淳一
優等-1BU	13	ハイロード ラムダ エクスター	R 4.03.17	小椋 淳一

### 全体の入賞結果

順位	部門	名号	生年月日	出品者
	名譽賞 (1部~6部) 3部	ハツピーライン RT アンテロープ ルル	R 6.07.01	枝幸町 内田喜久男
	準名譽賞 (1部~6部) 5部	セジス ビューティ クリーメル サン ユニクス	R 6.02.06	清水町 高橋 喜一
	名譽賞 (7部~13部) 13部	ハイロード ラムダ エクスター	R 4.03.17	上士幌町 小椋 淳一
	準名譽賞 (7部~13部) 10部	グランシヤリオ ラム ウォーク ダン アンメリーゼ ET	R 4.10.04	湧別町 木村 有斗
最高位	名譽賞 (14部~16部) 16部	サニーウエイ アストロ マツカチエン	H30.05.16	遠軽町 木村 吉里
	準名譽賞 (14部~16部) 15部	エリー スマイル ユニキュア ET	R 2.01.05	広尾町 株エスティアディーサービス

### ジャージー種の部

順位	部門	名号	生年月日	出品者
	名譽賞 20部	エムコラボ カジノ シエーニングランツ	H31.03.19	苦前町 中嶋めぐみ
	準名譽賞 19部	SF カジノ M チエリー	R 5.03.15	岩見沢市 株瀬能牧場

## 第16回 全日本ホルスタイン共進会 出品牛



# 農協法公布記念日に

# あたつて



# 北海道農業協同組合中央会

代表理事長  
樽井功

昭和二十二年十一月十九日

に農業協同組合法が公布され  
てから七十八年が経過しまし  
た。

農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展の食糧不足の済む見

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢

昨年 農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、日本環境問題への対応など、日本

一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えていました。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

の農政は大きな転換点を迎えて います。JAグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続して います。

農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたつてのメルマガと致します。



# JA青年部 子ども農業体験

(酪農)

小学校3年生と  
酪農体験を開催



十月二十八日、JA青年部酪農部会（荒井峻也部会長）は上士幌小学校三年生を対象に子ども農業体験を開催した。今年度も子どもたちを株式会社airy Farm TAKAGI（上音更）へ招いての酪農体験を実施し、当日は搾乳体験を実施し、当日は搾乳牛一頭を用いて搾乳体験を行った。子ども達は青年部員の指導のもと、最初は怯えながらであったが、次第に楽し

そうに搾乳体験を行っている姿が見られた。また、ロボット牛舎の見学やトラクター試乗体験、産まれて間もない子牛とのふれあい体験を実施すると、子どもたちは「あつたかい」「かわいい」などと大喜びであった。

酪農体験中は小学生から青年部員へ質疑応答を行い、舎内で酪農に関する日々の業務内容や牛の体についてなど多くの質問が飛び交う充実した内容となつ

た。また、給食の時間に食べてもらえるよう株式会社airy Farm TAKAGIで製造しているアイスクリームを提供すると、嬉しそうに給食の時間を楽しみにしていた。

荒井酪農部会長は「子どもたちがとても楽しそうな表情を浮かべながら体験してくれて良かった。この体験を通して、少しでも酪農に関心を持ち、酪農の面白さ、大変さを感じてもらえたら。」と話していた。



# J A 青年部

## 給食センターへ馬鈴薯寄贈

十月二十三日、JA青年部（伊藤頤太郎部長）は、部員宅で収穫された馬鈴薯を町内の給食センターへ寄贈した。

食育活動・地産地消の取り組みとして、安全・安心な地場産の農産物を子どもたちに食べてもらい、上士幌町農業の素晴らしさ感じてもらうことを目的とし、今年度で二回目の開催となる。

当日は畑作部会員の圃場で収穫された馬鈴薯約八十キロを上士幌町教育委員会小堀雄二教育長へ手渡した。泉田澄夫畑作部会長より「今年度で二十三回目となつたこの事業も毎年違つた青年部員による寄贈が行なつておらず、それぞれの圃場で丹精込めて育てられた馬鈴薯を給食で使用していた子どもたちに味わつても



には安心・安全な食材を通じて今まで以上に農業について理解してもらいたい。」と御礼を述べた。

寄贈した馬鈴薯は今後、町内の学校給食として様々なメニューで配給される予定となつてている。



高橋組合長 祝辞の様子

大会では、五単組の各代表者による十勝地区JA青年部の主張大会、「北海道のために～選手として、経営者として～」と題し、レバンガ北海道代表取締役社長折茂武彦氏の講演会、三十秒CMコンテスト、純農ボーキコンテスト、十勝地区農協青年部協議会事業報告、懇親会が行われた。

三十秒CMコンテストでは、各単組の個性豊かなCMに笑いや感動で会場が沸いた。JA上士幌町青年部からも一作品応募したが、惜しくも入賞とはならなかつた。

懇親会では余興のアームレスリング大会が行われ、各単組による熱い応援で会場が沸いた。大会に参加した青年部員は他単組との交流を深め、有意義な時間を過ごす事ができた。

## 第50回JA十勝青年部大会

### 盛大に開催される



増田副会長 十勝地区青協事業報告の様子



青年組織綱領朗読

J A青年部

# 管外合同視察研修開催

十二月三日～四日、J A青年部畑作部会・酪農部会（泉田澄夫畑作部会長・荒井峻也酪農部会長）は管外合同視察研修を開催し、十九名の部会員が参加した。

今回は北広島市にある、北日本スカイテック株と札幌市にある北

海道コカ・コーラ札幌工場を視察した。

北日本スカイテック株では、会社説明・農業散布用ドローンの機体説明・デモフライト・ドローンサッカー体験を行なった。北日本スカイテック株は農業分野を中心とし、無人航空機の販売とメンテナンス、操縦教習を続けており、さまざまな産業で無人航空機の利活用が進む昨今の環境変化を捉え、近年は幅広い方を対象としたドローンスクールの開校や橋梁点検、治山工事などにおける



無人航空機の技術提供など、新たな事業展開を行っていると説明を受けた。ドローンサッカー体験では、実際にドローンを操作しサッカーを行うなど普段触ることのない経験に部員たちも興味津々な様子で体験していた。

その後、北海道コカ・コーラ札幌工場に移動し工場見学を行った。

北海道コカ・コーラは、コカ・コーラ社製品の製造・販売を一手に担当する企業であり北海道を主な販売地域とし、コカ・コーラ、ファンタ、スプライト、アクエリアス、QOO、ジョージアなどのコカブランド製品を販売している。北海道コカ・コーラ札幌工場は、コカ・コーラブランド製品の飲料製造を行っており、製造ラインや環境対策、立体自動倉庫など、様々な製造工程を見学した。

視察研修を終え、伊藤部長は「部員達が幅広い農業知識を学べて良かった。新しく学べた事も多々あり、今後の営農活動に活かしていきたい。」と話していた。

# 第74回 J A青年部

## 全道大会開催

十二月四日～五日にかけて第七十四回全道J A青年部大会が札幌パークホテルにて開催され、全道各地の青年部員が集まり当J A青年部からも五名の役員が出席した。

初日は各単組の代表者によるJ A青年の主張大会・活動実績発表大会が行われ、主張大会については、十勝からも先日開催された十勝大会の代表者が壇上で堂々と発表していた。二日目は基調講演・本



大会が式次第に沿つて行われ、盛大のうちに閉会した。今後も上士幌町農協青年部はこのような上部組織への積極的な参加を行っていく。

# 理事会だより

## 第9回理事会

令和7年10月24日

報告事項	
1. 第2・四半期監査報告について	13. 固定資産の取得について
2. 内部監査報告について	12. 第54回十勝総合共進会(乳用牛の部)入賞結果について
3. 組合員の加入・脱退について	1. 内部監査報告について
4. 関連会社の財務状況について	2. 組合員の加入・脱退について
5. 十勝管内JAコンプライアンス研修会の開催について	14. 第2・四半期生乳生産出荷状況について
6. 固定資産(資本的支出)の取得について	15. 農作業受託事業に係る粗飼料の収穫作業結果について
7. 営農貯金利率について	3. ネットバンキング詐欺被害補償について
8. 令和7年産馬鈴薯集荷実績について	4. 大豆収穫状況について
9. 令和6年度産食用・加工用馬鈴薯共同計算の精算結果報告について	5. 令和7年産種子馬鈴薯入库状況について
10. 令和7年産豆類集荷状況について	6. 第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会の入賞結果について
11. 令和7年産原料てん菜輸送計画について	7. 11月1日(土)低気圧による暴風被害の集計結果について

## 第10回理事会

令和7年11月21日

### 報告事項

### 議案第1号

### 議案第2号

### 議案第3号

### 協議事項

12. 固定資産(資本的支出)の取得について

3日 固定資産の取得について

3日 仕事始め  
(スタンド)

6日 仕事始め  
(事務所)

8日 和牛市場

9日 飼料定配

13日 乳牛市場

15日 育成牛市場

20日 F1市場

23日 飼料定配

27日 乳牛市場

下旬 農業廃プラ

4日 和牛市場

9日 乳牛市場

12日 育成牛市場

18日 F1市場

25日 飼料定配

25日 馬市場

## 行事予定

1月



2月

下旬	25日	25日	18日	12日	9日	4日
農業廃プラ	農業廃プラ	馬市場	F1市場	F1市場	乳牛市場	和牛市場

# 日帰り研修会開催

JA女性部（矢戸藍部長）は十二月二日、農協事務所三階会議室で日帰り研修会を開催した。

当日は二十四名の部員が参加し、矢戸部長の挨拶で開会し研修に入った。

はじめに十勝農業改良普及センター十勝北部支所地域第二係長笠井千会氏を講師に迎えて農作業安全講習会が行われた。アシストツールについて、熱中症対策、安全の心構えを保つ工夫などの研修を受けた。次に、虫対策に最適なバラコードを使用したオニヤンマ君作りを行った。周りの部員と手順を確認しながら終始笑顔でオニヤンマ君を作り上げていた。その後、bingo大会が行われ、JA常勤、JA各部署、Aコーポルピナから豪華景品（一位には組合長賞の十勝ナイタイ和牛など）が用意され、大いに盛り上がった。

最後まで部員間の交流が続き、女性部がより一層絆と輝きを増した研修会となつた。

矢戸部長開会挨拶



普及センターによる農作業安全講習



作品作り様子



組合長賞 おめでとうございます！



JA上士幌町女性部日帰り研修会

bingo入賞者



令和7年度

JA北海道女性大会・北海道家の光大会開催



1グランプリが行われ、十勝地区からは十勝の食材をふんだんに使用したすき焼き「十勝まるごと愛情煮込み」と十勝の恵みをぎゅつと詰め込んだ餃子「十勝まるごと愛情包み」と題し出品した。農業ガ

道内JA女性部員約三百八十名が参加した。当JAからは女性部長、副部長三名が出席した。

一日目は、家の光持ち寄り読書・家の光記事活動体験発表が行われた。次に、東京大学鈴木宣弘氏を講師に迎え、「日本農業の今後の展望について」の研修会があり、その後全体懇親会が行われ終了した。

十一月十二日～十三日、札幌パ  
ークホテルにて令和七年度JA北  
海道女性大会・北海道家の光大会  
が開催された。



## 大会の様子

## JA女性部 商工会女性部との交流会開催



交流会は商工会女性部森岡部長の挨拶から始まり、互いの活動内容を報告し交流を楽しんだ。その後、自己紹介をし、自身の目標や今後やつてみたいことなどを話し、大いに盛り上がった。

慣の見直しや持ち帰りの拡大により、食品ロスが削減されています。家庭でも無駄なく、おいしく、栄養を引き出しながらおいしく食べることで、食品ロスを減らすアクションを一つでも実践できるよう、半端食材を一掃する絶品レシピや、今まで捨てていた部分を使つた体にいレシピなどを四人の料理研究家に教えていただきます。

ヒルナンデス！ おでかけ予告  
ロスになりがちな食材を  
おいしく使い切る！わたし  
の「もったいない」レシピ

「笑う門には福来る」と言うように、笑顔には幸福を引き寄せる力があります。「笑い」が心身の健康に効果的だということは、医学的にも実証されつづかり、病気の予防や治療においても注目を集めています。自分が笑うだけでなく、人を笑わせるための話のネタの見つけ方や話し方のコツ、体を動かしながら顔の筋肉も動かして、とびつきりの笑顔になる体操や、見ているだけでも笑顔になり、贈る相手も顔がほころぶ「笑い文字」の描き方などを幅広く紹介します。

1月号の読みどころ  
今年はもつとウマ～く  
笑おう!

# 家の光

# すずらん会

## 11月例会

### のんびりした一日を 一泊研修旅行開催

J A女性部すずらん会（大平照子会長）は11月11～12日に一泊研修旅行を行った。

今年はしほろ温泉プラザ緑風に宿泊し、会員6名が出席した。

当時は15時30分にしほろ温泉プラザ緑風に集合し、18時から懇親会を行った。大平会長の音頭で乾杯し美味しい料理を堪能しながら、世間話で大いに盛り上がった。夕食を食べた後はそれぞれ温泉を満喫し、部屋でおしゃべりをして日頃の疲れを癒やしていた。



# すずらん会

## 12月例会

### いもころがし大会開催！



J A女性部すずらん会（大平照子会長）は12月3日に「いもころがし大会」を行った。

手や足を使って色々な形をした芋を転がし、高得点を狙うゲームで今回は6名が参加した。

参加人数が少ないとおり班分けせず二種類の得点表を使い、順番に回って行われた。今回は芋だけでなくミニかぼちゃも使用して行い、高得点を狙ったつもりが隣のマイナス点に入る等、大いに盛り上がった。

ゲーム終了後は景品が全員に当たった。その後農協会議室で忘年会が行われ、様々な話で盛り上がり寒さを忘れる楽しい一日となった。



# 農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

## 国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者

②年間60日以上農業に従事

③20歳以上65歳未満の方※

※60歳以上65歳未満の方は国民年金任意加入被保険者に限ります。



◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は いつでも変更 できます。

月々2万円※から6万7千円まで

※政策支援(以下参照)の対象とならない方は1万円

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の  
節税になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例:認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助

### 問い合わせ先

J A 上士幌町 管理課 TEL. 01564-2-2131

上士幌町農業委員会 TEL. 01564-2-4298

# 第44回 十勝農協連海外農業研修視察報告

代表理事組合長 高橋 昭博 (十勝農協連団長)  
営農振興課長 鈴木 敬裕  
農産係長 猪狩 健太郎



Madoxx Dairy にて

この度、第四十四回十勝農協連海外農業研修視察として十二月二日から十二日までの日程でアメリカ西海岸カリフォルニア州の農業関係機関及び生産者への視察研修に参加させていただきました。カリフォルニア州は主に太平洋の影響を受けた地中海性気候で夏は乾燥したたかく少雨。冬は温暖で雨が多く標高の高い所では降雪もある。ただし、広大な州のため緯度、標高、海岸からの距離によつては砂漠気候から亜寒帯気候と様々な気候帯が存在します。

今回の研修視察は十一か所を訪問し主に①有機栽培（生産から販売まで）に取組む生産者、②大規模経営生産者、③ドローン、AIを駆使した技術に取組む研究機関及び実務者④最新鋭の資材（機械）の開発メーカー、⑤干ばつ対策、⑥近隣で開催されていたファーマーズマーケットや地域のショッピングセンターネット等の視察、⑦その他アメリカ農業の課題等について研修を行つた。

①有機栽培生産者について畜産関係では完全放牧のみでオーガニック認定を受けており、牛、豚、鳥、羊等家畜を飼養する生産者は国から農地（四百ha）を毎月五十万円でリースし経営を行つた。

行つており、家畜の肉類を加工し（外部委託）販売までを行つてゐる牧場を視察した。畑作関係ではサリナス地区の生産者二件を訪問し、生産から加工までを一括に行い有機栽培で付加価値を高め安心安全な生産物を消費者に提供している。また、當展開していた。ベーカーズフィールドの生産者は、六百種類の作物を有機栽培し、その生産物を併設している売店での販売や収穫体験等も行える観光農園を経営。定期的に農園でイベントを開催する等多くの観光客が訪問する。他にも近隣の小学生を対象とした食育活動にも力を入れているとのことであつた。

②大規模経営生産者について、ツラーレ地区の酪農場は、九千頭（内搾乳頭数三千二百頭）、経営面積二千八百haと酪農部門と耕種部門（果樹・野菜類）を分け大規模に事業を展開している。自前の粗飼料は主にアルファとコーン（計九百ha）カーサイロ十本分見合いのサイレージを貯蔵している。また、農場で生産する果樹の規格外品等も飼料として使用している。



## サリナス地区のオーガニック農家での研修



カリフォルニア大学USデービス校での研修



## 圃場での散水風景

普及事例について説明を受けた。  
④最新鋭の資材（機械）の開発メーカーについて、オックスナードの食品テクノロジー企業では植物由来成分で野菜や果樹の鮮度を長持ちさせるコーティング剤の開発及び活用事例につ

③ドローン、AIを駆使した技術に取組む研究機関及び実務者について、カリフォルニア大学U.S.デービス校ではドローンで作物の写真を撮影しその画像をAIで生育状態（栄養蓄積度合い等）を判断するプログラムや葉の養分を瞬時に測定し結果をスマホで確認できるシステムの研究内容について説明を受けた。ソラーレ地区のドローンを扱う企業ではドローンで撮影した圃場の生育状態を色分けで表示するシステムやそのデータを連動させリモコンで操作するスプレーヤーや施肥機、ドローンによる果樹の収穫等最先端技術の産業向け商品を扱う子会社も運営している。

品の水分が失われるのを防ぎ通常より二～三倍の期間長持ちさせることができ人体への害は一切ない。特に発展途上国等は保存設備や輸送インフラの未整備により製品が痛んでしまうケースが多々発生しておりこの技術の普及で課題がクリアされている。エルセントロの機械メーカーではLASERWEEDERというカメラで地面をスキヤンし、AIが雑草を識別するトレーザーを成長点に照射し焼き切る機械及び施工現場を視察した。この機械の普及で農業の使用量の削減を図り土壤内の微生物を保護し土壤の健康状態維持が可能となる。また、除草作業の省力化にも繋がる。(四群の機械で販売価格約一億円)

トヒホットといふ大規模に作物を栽培するために、汲み上げた地下水に肥料を添加した後、自走式の散水管に圧送して水をまく灌漑法が見られた。また、農自費（補助無し・高額なもので一億円超）で導入するなど対応に苦慮していた。

⑥近隣で開催されていたファーマーズマーケットや地域のショッピングセンター等の視察について、ファーマーズマーケットは農畜産物だけではなくジャム等の加工品も販売されており祭りの出店のような雰囲気であった。全種類がオーガニック商品で値段は高めに設定されていた。（キヤバツ一玉九百円、トマト一玉六百二十円等）また、商品の規格は不揃いでアメリカの消費者は規格にこだわりがなく、逆に日本が細かすぎると思った。また、ショッピングセンターでは野菜類はパックギングせずそのまま陳列され、ピンク色のケースが多く見栄えが良く感じた。円安の影響もあるがライムで七六円、カボチャ三二〇円、イモ一五五円、タマネギ一五五円、レタス二三五円。キヤツ三一〇円程の金額であった。

⑦その他アメリカ農業の課題等について、前段の干ばつ問題

業における働き手が不足していること、後継者不足等に伴う農の加速で一戸当たりの規模が拡大、人件費の上昇（最低賃金二十ドル・三千二百円）に伴う経営圧迫、施設や機械の更新、改修等日本と同じような課題を抱えており、今回研修視察を行つたA.I.、ドローンといった最先端技術活用や有機栽培等付加価値を高める取組みや環境에서도ロスに配慮した取組みが今後も必要となつてくると感じた。このように同じアメリカ国内でも広大で気候や文化は異なりますが、「農業」については携わる方々が「より良い物を生産させせる」という同じ目的意識を向上させ自分たちの暮らしを安定化させることで、農業所得を向上させ消費者へ届け、農業者へ届け、農業所得を向上させることで、農業者もつて取り組んでおり、農業者はただ生産するのではなく消費者や時代が何を求めているか常に生産者が情勢を見極め、先の未来を見据えて取組む姿に今の十勝農業に足りないものを感じさせられました。そして近い将来の十勝の農業経営が今のアメリカの農業そのもの（灌漑農業や大規模化等）だと非常に参考になり、この経験を必ず今後の業務で還元できるよう日々業務に励んで参ります。また、十一



## ロサンゼルス市内のファーマーズマーケット



## レーザー除草システム LASERWEEDER

業における働き手が不足していること、後継者不足等に伴う農の加速で一戸当たりの規模が拡大、人件費の上昇（最低賃金二十ドル・三千二百円）に伴う経営圧迫、施設や機械の更新、改修等日本と同じような課題を抱えており、今回研修視察を行つたA.I.、ドローンといった最先端技術活用や有機栽培等付加価値を高める取組みや環境에서도ロスに配慮した取組みが今後も必要となつてくると感じた。このように同じアメリカ国内でも広大で気候や文化は異なりますが、「農業」については携わる方々が「より良い物を生産させせる」という同じ目的意識をもつて取り組んでおり、農業者はまだ生産するのではなく消費者や時代が何を求めているか常に生産者が情勢を見極め、先の未来を見据えて取組む姿に今の十勝農業に足りないものを感じさせられました。そして近い将来の十勝の農業経営が今のアメリカの農業そのもの（灌漑農業や大規模化等）だと非常に参考になり、この経験を必ず今後の業務で還元できるよう日々業務に励んで参ります。また、十一

日間共に素晴らしい経験時間の共有をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、このような素晴らしい研修に参加させていただいた上士幌町農業協同組合に感謝するとともに事務局の十勝農協連、関係機関に厚く感謝とお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。



講師 笠井千会氏

酪農振興会（佐藤喜明会長）は、十一月十一日に農協会議室において、上士幌町内で酪農に携わる仕事をしている女性を対象にした研修会を開催した。

講師に十勝改良普及センタ

ー十勝北部支所地域第二係長 笠井千会氏を招き「哺育のポイント再確認と最近の知見について」と題し講座を行った。

子牛の生まれ落ちと自己免疫・

初乳について等、哺育についてわかりやすい説明を受けた。

参加した酪農に携わる女性か

らは、疑問に思っていることなど質疑応答を行い、有意義な講座となつた。講座後は、講師を交えて昼食会を開催し、交流と情報交換を楽しんだ。



女性研修会の様子

今年は、十勝管内の市町村の中でも最長記録だった交通事故死ゼロ記録四三七四日が途絶えた他に、町内での交通事故が相次いだことを受け緊急決起集会を行つた。上士幌町竹中町長、J A 上士幌町高橋組合長、町生活安全推進協議会國光会長、帶広警察高谷交通第一課長が来賓として出席した。帶広警察高谷交通第一課長は「減速と安全確認の徹底をしていただきたい」と呼び掛けた。

決起集会閉会後に国道二七三号沿いの消防所前にて、旗波作戦が行われた。啓発には交通安全指導員のほか農協や上士幌町高校等会員約五十人が参加し、黄色い旗を道路側に向けて行き交うドライバーに安全運転を促した。



交通安全旗波作戦街頭啓発



交通安全決起集会の様子

- 生年月日

平成元年四月二十日

- 出身地

浦幌町

- 最終学歴

北海道立農業大学校

- 趣味

ドライブ・食べ歩き・温泉など

- 抱負

ミルクローリードラバーとして一日でも早く酪農さんの力になれるよう頑張りますので、宜しくお願ひいたします。



和田 雄太  
(酪農課)

## 酪農振興会 女性研修会開催

## 上士幌町交通安全緊急決起集会開催

### 新入職員紹介

畜産部酪農課酪農係

農産部考查役兼務

人事異動 十二月八日付

佐藤 浩敏

水谷 秀和

人事の動き

# 酪農情報

令和7年度10月 生乳受託販売実績数量

	受託戸数	受託乳量	前年比	乳代 ①	単価	補給金 ②	合計 ①+②	単価	前年 との差
上士幌町	戸 57	kg 9,980,688.0	% 96.8	円 1,198,218,217	円 120.05	円 89,959,931	円 1,288,178,148	円 129.07	7.60
十勝管内計	935	106,191,714.8	100.8	12,875,010,891	121.24	957,148,392	13,832,159,283	130.26	6.83
全道計	4,157	326,606,852.7	100.0	40,025,333,050	122.55	2,943,838,206	42,969,171,256	131.56	7.19

	累計受託乳量	前年比	単価	前年 との差	乳脂肪率 %	無脂固体率 %
上士幌町	kg 73,466,029.0	% 100.1	円 124.4	% 4.2	% 3.880	% 8.850
十勝管内計	767,937,884.1	103.1	125.6	4.3	3.963	8.842
全道計	2,356,806,124.8	102.1	126.6	4.5	4.041	8.840

## 家畜市場成績

令和7年度 ホクレン十勝肉牛市場消流情報 (7.11.6) (7.11.20)

	黒毛和種・メス	黒毛和種・去	乳用交雑・メス	乳用交雑・去
出場頭数 頭	435	536	1,273	1,069
成立頭数 頭	430	525	1,245	1,057
売買比率 %	98.9	97.9	97.8	98.9
売買金額 円	279,438,500	385,975,700	570,896,700	536,747,200
最高金額 円	1,096,700	997,700	596,200	613,800
最低金額 円	183,700	212,300	251,900	313,500
平均金額 円	649,857	735,192	458,552	507,802

令和7年度 ホクレン十勝地区乳牛市場消流情報 (7.11.25)

	初妊牛小計	経産牛小計	合計	上士幌町
出場頭数 頭	692	78	774	24
成立頭数 頭	584	76	664	22
売買比率 %	84.4	97.4	85.8	91.7
売買金額 円	375,002,100	45,020,800	422,268,000	13,813,800
最高金額 円	1,258,400	938,300	1,258,400	820,600
最低金額 円	201,300	220,000	201,300	343,200
平均金額 円	642,127	592,379	635,946	627,900

# 秋の収穫 作業風景



大豆収穫



てん菜収穫



長芋収穫



ごぼう選果



薬草茎切作業



豆選果



上土幌町農協組合員のみなさんへ

## 令和7年度 巡回ドックの最終案内

ご自身の健康管理のため、組合員様とご家族皆様へ巡回ドックのご案内をいたします。  
まだ健診を受けていない方は、1月の巡回ドックをぜひご利用ください。

### <ふれあいプラザで実施する集団健診>

日時	健診名	対象者	料金	健診内容
令和8年 <u>1月27日(火)</u> <u>~30日(金)</u>	特定健診	40~74歳の町国民健康保険加入者	0円	身体測定 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図検査 眼底検査 医師の診察
	基本健診	18~39歳の方		
	後期健診	後期高齢者医療保険加入者		

★国保以外の健康保険加入者で40~74歳の場合、令和7年度特定健診受診券をお持ちの方等も受診することができますが、金額や検査内容は加入している健康保険にお問い合わせください

### <上記の健診と一緒に受けられるがん検診>

検診名	料金	検診内容
大腸がん検診	500円	便検査
肺がん検診	400円	胸部レントゲン検査
胃がん検診	1,400円	胃バリウム検査

料 金	上記の検診料金の半額を農協が助成します
申込み先	農協管理課 または、 役場保健福祉課健康増進担当(ふれあいプラザ内 電話2-4128)

★定員に達した場合は、ご希望の日時に添えない場合があります。

血管・血液の状態  
を自分自身で確認する  
機会を持つことが、  
健康寿命を伸ばします



コレステロールなどがたまつて狭くなった血管

2次元コードからも申込みます！



健診専用



# 令和7年度 年末年始の業務体制

	12.29	12.30	12.31	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	備考
	月	火	水	木	金	土	日	月	
事務所	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
信用・共済窓口	9:00 ～16:00	○	○	○	○	○	○	9:00 ～16:00	6日から平常営業
事務所内	8:00 ～19:00	○	○	○	○	○	○	8:00 ～19:00	6日から平常営業
ATM	8:00 ～19:00	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
生産資材店舗	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
生産資材倉庫	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
農産センター	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
セルフタンド	8:00 ～19:00	8:00 ～19:00	8:00 ～15:00	○	○	○	8:30 ～15:00	8:30 ～15:00	6日から平常営業
洗車場	8:30 ～18:00	8:30 ～18:00	8:30 ～14:00	○	○	○	9:00 ～14:00	9:00 ～14:00	6日から平常営業
集乳所	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により無休
TMRセンター	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により無休
ナイタイ原牧場	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により無休

※○は休業日